



～141年の歴史に幕を閉じる～

古園小学校

田畑に囲まれた立地を生かし、地域の皆さんとともに取り組んだ玉ねぎの栽培や米作りの体験は、子どもたちの心身を豊かにしてくれました。

また、恒例の相撲大会は地域の皆さんの楽しみの一つであり、熱い声援は、子どもたちがたくましく育つことへの願いであったように思います。

児童数はピーク時には300人を超え、卒業生は述べ4,035人にのびります。



～141年の歴史に幕を閉じる～

南有馬小学校

明治7年に開校した浦田小学校と大江小学校を前身とし、昭和22年に、南有馬小学校が誕生しました。史跡原城跡を校区に抱く南有馬小学校は、校舎の窓から雲仙普賢岳、有明海を望むことができました。

また、平成21年には、運動場が芝生化され、春から秋にかけて運動場一面に広がる芝のじゅうたんは、子どもたちの健やかな成長を見守ってくれていました。



～129年の歴史に幕を閉じる～

梅谷小学校

明治19年に清谷学校として開校して以来、数々の変遷をたどり、昭和23年梅谷小学校として独立しました。田植え、稲刈り、餅つきをはじめ、玉ねぎやサツマイモづくり、文化交流会や収穫祭、鬼火などに取り組んできました。

子どもたちは保護者や地域の皆さんの深い愛情に包まれ、季節の移り変わりを実感しながら心豊かに成長してきました。



～140年の歴史に幕を閉じる～

吉川小学校

明治8年に平屋一件を校舎として開校後、夏吉分校の設置など数々の変遷をたどりしました。

昭和63年に現在の場所に移設すると、南有馬地区で一番新しい校舎となり、子どもたちは快適な環境で勉強に取り組んできました。一方その間、夏吉分校の閉校を経験しました。

豊かな自然に囲まれ、地域に根ざし、地域と一体となった学校づくりが推進され、文部省より「保健体育優良校」として表彰を受けるなど、文化活動やスポーツ活動にも積極的に取り組んできました。



～140年の歴史に幕を閉じる～

白木野小学校

全国棚田百選に選ばれた谷水棚田や鳳上岳など、美しい自然に囲まれた場所にあり、一時は教師として白木野小学校の教壇に立った日本彫刻界の巨匠、北村西望先生の母校でもあります。恵まれた自然と文化の薫り高い教育環境で、地域に根ざし、地域と一体となった学校づくりを推進してきました。

教育の拠点としてだけではなく、「白木野少年先踊り」に象徴される地域文化の中心であり、かけがえのない心の拠り所として大きな役割を果たしてきました。

